

今年度の重点政策について

～新時代の礎づくり～

3年目を迎える「安心・元気・未来プラン 2017」を着実に推進し、これまで進めてきた「暮らし満足No.1」に向けた基礎づくりからさらに施策の展開・深化を図ります。

今年度は、新しい「令和」時代のスタートであるとともに、中津市制施行90周年（1929年4月20日市制施行）の節目の年でもあります。誰もが夢と希望を持ち、将来に亘って満足を実感し得るまちづくりを進めるため、「～新時代の礎づくり～」をテーマとして、各施策に取り組みます。

●特に重点を置いて取り組む事項●

災害に強いまち・災害に強い地域づくり

平成24年九州北部豪雨災害をはじめ、昨年の耶馬溪金吉地区で発生した山地崩壊など、多発する災害への備えとして、「災害は起こる」ことを前提とした防災対策の強化が求められています。

住民自らが日頃からの自助の取り組みを強化するとともに市民と災害に関する情報共有を図るため、旧下毛地域の河川、ため池等の危険個所に防災監視カメラを設置するほか、土砂災害・内水などの防災ハザードマップを全世帯に配布します。災害が起きた場合でも、被害を最小限度に止められる「災害に強いまち」・「災害に強い地域づくり」を進めます。



(監視カメラシステムのイメージ)

子育て2.0のまちづくり

「子育て満足度が高いまち中津」「女性が働きやすく、活躍できるまち中津」の実現のため、「子育て2.0プロジェクト」と題して、従来の子育て支援サービスの一歩先を行くきめ細かな支援施策に取り組んでいます。多子世帯に対する放課後児童クラブの保護者負担の助成や病児保育といった子どもを預かるサービスを充実させるほか、子ども医療費助成の拡充や村上童心記念館の開設により、健やかな子どもの成長をサポートしてまいります。



(H31.4.13 村上記念童心館開館式)

中心市街地における「学び」と「交流」を生むまちづくり

中心市街地に、新たに3施設（村上記念童心館（4/13）、新中津市学校及び中津市歴史博物館（開設予定））が誕生します。これらの施設は、あらゆる世代が交流し、「学びたい教育のまち中津」の拠点として、活用してまいります。

なお、これら施設の開設等は、90周年記念事業に位置付けて取り組むこととしています。



(中津市歴史博物館)

【問合せ先】

企画観光部 総合政策課 瀬戸口
TEL:0979-22-1111 (内線247)